令和元年度　農業科のまとめ（活動記録）

喜多方市立豊川小学校

＜３・４年　大豆や小豆をつくって、おいしいものを食べよう！＞

３年生は大豆と小豆、４年生は大豆を作りました。４月に４年生が畑づくりとマルチかけの作業を行い、その後大豆や小豆の苗植えをしました。農業支援員の細田俊夫さんの懇切丁寧な指導のもと、子どもたちはしっかりと苗を植え付け、水をたっぷりあげました。「大きく育ってね」「枝豆が楽しみ」などの子どもたちの声が聞かれました。

大豆の他に小豆も植えた３年生は、収穫した小豆を使い、食生活改善推進委員さんの協力も得て、あんこを作って「団子パーティー」を開きました。

また、枝豆として収穫したものをずんだにし、ずんだ団子も堪能しました。さらに、納豆にして「納豆パーティー」も開くなど、様々な形に姿を変える大豆のすごさに驚いていました。

４年生は、大豆をゆで、いろいろな味付けにアレンジして「大豆パーティー」を行いました。

農業科の活動では、天候に左右されること、思いを持って育てると作物もよく育ってくれることを細田さんに教わるなど、子どもたちも体験から学ぶことが数多くありました。

＜５・６年　米作り＞

４月・・・雪をいただいた真っ白な飯豊山を遠くにのぞみながら、米作りの作業がスタートしました。塩水選から種籾まき、そして田うないと、春の空気を体いっぱいに感じながら、６年生と５年生が力を合わせて作業に取り組みました。６年生は昨年の経験を生かし、５年生にやり方やこつを教えながら活動する姿が見られるなど、豊川小学校の米作りの伝統を感じる一コマでした。

育苗ハウスで青々と育った苗を、泥だらけになりながら丁寧に植える子どもたちは、昔の人々の苦労を体で感じているようでした。

６月には、「ころばし」を使った除草を行い、田んぼに出る雑草の種類の多さにも気づくことができました。

９月になると稲の色も少しずつ変わっていき、かかしづくりに取り組みました。鳥や虫たちが驚くような立派なかかしを、みんなで協力しながらつくり上げることができました。

１０月、いよいよ収穫・・・黄金色に実った稲を、かまでていねいに刈り取り、束ねて「さで」に掛けて天日干しをしました。

１年間丁寧に指導していただいた農業支援員の只浦義弘さん、そしてお手伝いいただいた小林好明さんにも感謝しながら、おいしいお米を炊いておにぎりにし、収穫感謝祭を行いました。